

手づくりマスクの作り方（3枚重ねの立体マスク）

<材料>

- ・布地（さらし、布、ガーゼ等）
- ・ゴムひも（平ゴム、帽子ゴム、ヘアゴムでも代用できます）



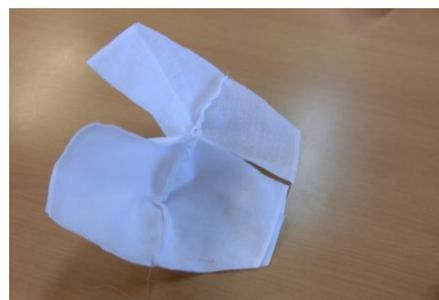
※さらしで作る場合は3枚重ねがおすすめです。布地の厚さや好みで調整してください。

※型紙のデータ（大・中・小の3種類）を添付しますので、ダウンロードしてお使いください。型紙は縫いしろ込みの大きさです。大きさの目安は、大：大人用、中：女性・子ども用、小：幼児用です。型紙を印刷する場合は、印刷のページサイズ処理の設定を「実際のサイズ」にして印刷してください。

※それぞれの型紙の1と2の型を縫い合わせて左右になります。裏表のある布地を使う場合にはご注意ください。

<作り方>

1. 型紙を使用し、布地を裁断する。1人分作るのに裁断した布は6枚（左右×3）必要。
2. 表布を作る。4枚（左右×2）の型を重ねて中央カーブ（鼻側）を縫いしろ0.7cmで縫い合わせる。
3. 裏布を作る。残りの2枚（左右×1）の型を重ねて、2と同様に中央カーブ（鼻側）を縫いしろ0.8cmで縫い合わせる。（表布よりも縫いしろを多くとった方が、マスクをつけた時にもたつかない。）
4. 2と3で作った表布と裏布を中表に合わせてマチ針で止める。
※縫いしろを割らずに片方にたおすとほつれにくい。表側と裏側の縫いしろを反対方向にたおすと、縫う時に分厚くならず縫いやすい。



5. 上下を縫いしろ0.7cmで縫い合わせる。
6. 横から手を入れて、表に返す。
7. 両側を1cm→1.5cmの三つ折りで内側に折り、アイロンをかける。
8. 三つ折りした端を縫う。
※縫い始めと縫い終わりは、しっかりと返し縫いをする。
9. 大人30cm程度、子ども25cm程度のゴムひも2本を両側に通し、長さを調整してから結ぶ。
10. アイロンをかけて、完成！